

特別展 群馬の絵画一世紀—江戸から昭和まで

会 期 2006年6月24日(土)～9月3日(日)

江戸から明治にかけては、近世から近代の移りかわりの時期にあたり、日本絵画にとっても変化の大きい時代でした。武家社会が終わり、荒波のように押し寄せてきた欧米文化によって日本は変わり、美術もその影響を受けて大きな転換期を迎えました。伝統的な日本の絵画をめぐる環境は一変し、文部省展覧会の開設など、現代に続く美術制度が整えられ、大正、昭和へと時代を経ていくなかで絵画そのものも変わっていきました。

しかし、そうしたなかで、江戸から明治にかけて興隆した南画など、近世以来の画派や画風が衰退していったのも事実です。近世から近代にかけての群馬では、金井烏洲、青柳琴僊、小室翠雲など、南画の系譜に連なる画家たちの活躍が目をはびきます。現在、顧みる機会の少ない彼らですが、その作品には、近世南画の伝統を引き継ぎながらも近代の息吹を感じることができます。

本展覧会では、江戸から昭和までの絵画の様相を、群馬と関わりの深い作品を中心として、近世から近代にかけての絵画の変容を見ていただきたいと思います。

会 場	高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町 3-23 電話 027-330-3773)
時 間	午前 10 時～午後 6 時 (入館は午後 5 時 30 分まで) 金曜日のみ午前 10 時～午後 8 時 (入館は午後 7 時 30 分まで)
休 館 日	月曜日 (祝日の場合は開館、翌日休館) 会期中の休館日：6/26、7/3・10・18・24・31、8/7・14・21・28
観 覧 料	一般：700 円 (600 円)、大高生：500 円 (400 円)、中小生：300 円 (200 円) <ul style="list-style-type: none">● ()内は 20 名以上の団体割引料金● 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方 1 名、65 歳以上の方、未就学児は無料となります● 毎週土曜日、小中学生は無料となります
主 催	高崎市タワー美術館
後 援	朝日新聞前橋総局、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、NHK 前橋放送局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎
連 携	前橋・高崎連携市長会議

関連事業

- 作品解説会 6/24、7/8、7/22、8/5、8/19、9/2 14:00～